上のボタンをクリックすると各項目の先頭ページを表示します。 ボタン表示では、OS及び「Adobe Reader」のバージョンにより正常に作動しない場合が あります。その場合は「しおり機能」をご利用ください。

注意1 しおり機能を利用した3Dモデル表示について しおり機能で「3Dモデル(起動)」の下にあるしおりは、「3Dモデル(起動)」を選択後に 利用できます。

注意2 3Dモデルについて

3Dモデルの機能は、各OS対応の「Adobe Reader」とコンピュータ環境により、機能・表示において正しく機能・表示されない場合があります。

現時点では、MacOSにて断面表示及び半透明表示が正しく機能しないことがあります。 最新の「Adobe Reader」をインストールする事やコンピュータ環境を変える事で改善する 場合があります。

2010年9月

企画:愛知県埋蔵文化財センター

製作:株式会社 イビソク

※3Dモデルを利用する場合は、最新の「Adobe Reader」が必要です。 最新の「Adobe Reader」はAdobe社のHPから入手できます。 「Adobe Reader」についてのご質問はAdobe社へお願いします。



3Dモデルのマニュアル ①

- 3Dモデルの起動方法
 - 1) 3Dモデルのページを表示させる。
 - 2) 図形の何処かをクリックすると、3Dモデル・ツールが起動する。



3) 3Dモデル用のツール・バーが表示される。 4) ツール・バーを利用して回転・表示制御ができる。



3Dモデルのマニュアル ②

② 3Dモデルの制御機能



ツール・バーのボタンをマウスでクリックすることで、各機能が利用できる。

● 3Dモデルの制御

A:回転		マウスの動きで、3Dモデルを回転(左ボタンのドラッグ)
B:移動		マウスの動きで、3Dモデルを移動(左ボタンのドラッグ)
C:拡大縮小	<i>۱</i>	- マウスの動きで、3Dモデルを拡大縮小

左ボタン上へドラッグで拡大、下へドラッグで縮小

●ビュー制御・レイヤー制御

D:初期ビュー ---- 起動時の表示に戻す(位置・レイヤーとも)

E:ビュー選択 ---- 設定されている表示にする(位置・レイヤーとも)

F:モデル属性 ---- 左の情報窓にモデルのレイヤーを表示、表示・非表示の制御ができる レイヤー構造は「③ レイヤー構造」を参照

● 画面制御

G:投影法の切り替え ---- ボタンをクリックするごとに投影法を切り替ええる H:背景画面色 ---- 画面背景色の設定 その他にモデルの表示方法やライティングの変更ができる。今回は特に使う必要がありません。